

くるみ新聞

第 203 号

発行：錦デイサービスセンター

平成 27 年 2 月発行



暦の上では春とはいえ、まだまだ寒い日が続いています。少しずつ日が長くなり、春の陽気が待ち遠しくなります。

インフルエンザの流行がピークです。うがいと手洗いをし、予防していきましょう。

≪節分とは≫

2月3日は節分です。節分とは「季節を分ける」という意味があります。言い換えれば「季節の分かれ目」という意味になります。季節の分かれ目は立春・立夏・立秋・立冬で、その前日を節分といいます。

しかし旧暦では立春が年の始まりにあたることから、いつのころからか節分といえば、立春の前日をさすようになりました。立春を新年と考えれば、節分は大みそか。特別な意味を持つようになったと思われま

節分といえば豆まきです。なぜ節分に豆まきをするのでしょうか。

昔、京都に鬼が出て皆を困らせていました。その時に神様のお告げで、豆を鬼の目に投げて退治したという話があります。

「鬼＝魔」、「魔(ま)を滅(め)つする」という言葉から、その年が無病息災で過ごせるようにと豆を撒くようになりました。豆は煎った豆でなければなりません。なぜかというと生の豆はそこから芽がでてくるからです。「魔」から「目」が出てくるということで大変縁起が悪いとされています。豆撒き後は、自分の年の数、または自分の年の数+1の豆を食べ、一年の無病息災を願います。



また鰯を焼いた時の煙と臭いが厄を祓うといわれ、節分の日には家の入口に鰯の頭を柵の枝にさしておく風習があります。

鬼の嫌がる鰯の臭いと、柵の葉の棘に痛がって、鬼が近寄らないので鬼門封じや厄除けになると昔から言い伝えられています。

そして、関西を中心に、その年の恵方（年神様のいらっしゃる吉の方角）に向かって無言で太巻き寿司を丸かぶりし、新しい年が良い年でありますようにと願いながら食べるという風習があります。これは大正時代に大阪の花街で、節分の時期に漬け上がるお新香を使った海苔巻きを、恵方に向かって食べて縁起を担いだ事が始まりとされています。

巻き寿司を使うのは「福を巻き込む」からで、切らないのは「縁を切らないために」といわれています。

今年の恵方は西南西です。



■■■ 2月の行事予定 ■■■

★節分会 2月2日(月)・3日(火)・4日(水)

豆まきやゲームを企画しております。今年はどんな鬼が出てくるかお楽しみに。新しい鬼も登場するかも。

昼食も節分にちなんだお食事を用意しています。



★壁面装飾 2月12日(木)・13日(金)・14日(土)

折り紙でつるし雛を作ります。お雛様だけでなく、鶴、亀、菊などをたくさん折り、センターの壁に飾る予定です。

■■■ 1月の行事・活動報告 ■■■

★新年会 8日(月)・9日(火)・10日(水)

午前中は絵馬に今年の目標を書いていただきました。

「毎日元気に過ごしたい」・「休まずセンターに来たい」など健康に関する目標や、「転ばないように努力したい」・「自分の足で歩きたい」などの具体的な目標を立てた方もいらっしゃいました。

センター内に飾りますので、目標が達成できるように頑張りましょう。

午後はカルタゲームをして楽しみました。大きなカルタを床に敷き詰め、紅白のお手玉を投げてカルタにのせる紅白対抗ゲームです。白熱したゲームとなりました。





★ 壁面装飾

梅の花を作りました。画用紙に枝を貼り、スタンプを使って梅の花を咲かせました。食堂にある錦の木に梅の花が満開となりました。

★ 保育園交流会 1月21日(水)

子供たちと一緒に“昔のあそび”を行いました。
「独楽まわし」や「けん玉」「お手玉」を一緒に楽しみました。

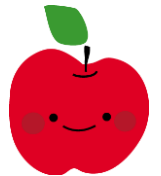


★ 手工芸 1月16日(金)・20日(火)・24日(土)

作品展に向けて作った作品を保管しておく袋を作りました。今年もたくさんの作品をお見せできるよう、企画していきたいと思います。

★ お楽しみ湯 1月26日(月)

今月はリンゴ湯を行いました。リンゴの甘い香りにつつまれたお湯はいかがでしたか？
リンゴ湯には疲労回復効果、精神安定・リラックス効果、美肌効果、冷え性の予防・改善、血行や新陳代謝の促進などの効果があるそうです。



■■■■その他■■■■

★家族介護者教室

『よりよい介護を続けるために ～上手に福祉サービスを利用しよう～』

介護が必要になった時、要介護者、介護者の双方が不安なく生活するには、福祉サービスをどのように利用したらよいのか、どのように自宅での生活を続けていくのかなど、講師の方にお話ししていただきます。

日時：2月14日(土) 14時～16時

講師：ブーケの会（練馬認知症の人と家族の会） 小泉 晴子氏

場所：錦デイサービスセンター 食堂



※参加ご希望の方はセンターまでご連絡ください。

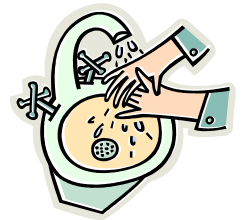
《センターからのお願い》



- お客様同士の物のやり取りはご遠慮ください。
- 衣類や杖など持ち物には氏名の記入をお願いいたします。
- インフルエンザなど感染症が流行しております。予防の基本は手洗い・うがいです。外出後は必ず行うようにしましょう。

咳が出る時はマスクをして人に移さないようにすることも大切です。

集団感染防止のため、ご本人様やご家族様で症状がありましたら添乗職員に報告のご協力をお願いいたします。場合によってはご利用を控えていただくこともありますので、あらかじめご了承ください。



《練馬区社会福祉事業団 介護サービス理念》

「ありのままのあなたを大切にします」

- ① あなたの声に耳を傾け、あなたらしく暮らすお手伝いをさせていただきます。
- ② 「今日も楽しく、いい一日だった」と思っていただけのような介護をします。
- ③ 私たちは介護の専門職として自己研鑽し、お客様に安心・安全な介護を提供します。

《練馬区社会福祉事業団 経営理念》

「練馬区社会福祉事業団は、人権尊重を理念とし、地域で最も信頼され、喜ばれるサービスの提供を、効率的でバランスのとれた経営をもって行い、区民福祉の向上を図ります。」

